



区民本位の区政推進

幹事長 山崎 満



新年明けましておめでとうございます。
昨年は北区自由民主党議員に対しまして、特段のご協力ご理解を賜り深く感謝申し上げます。

ご承知のように私たち14名の自民党議員は、浮間から田端まで区内全域で区民の皆様のご期待に応えるべく「北区づくり」を念頭に地域の発展と区民本位の区政に取り組んでおります。

新たな年を迎え、自民党は今やるべき事、そして未来に繋ぐ政策を積極的に提案し、限りある財源を有効に活用して、一人ひとりが幸せの実感できる区民福祉の向上・未来に残せる街づくり・安全で住みやすい環境づくり・子ども達が自慢できる教育環境の整備・特徴ある北区商工業の活性化・区民の生命と財産を守る防災施策など、そのほか促進すべき事は多くあります。

私たち議員団は、今年もそれぞれの地域の特性を生かしながら北区発展に一丸となり邁進してまいります。

本年が皆様方にとりましてより良い年となりますよう、心からご祈念申し上げます。

北区中期計画(平成26年度~28年度)を策定

北区は12月13日、北区議会に平成26年度~28年度の3か年間にわたる「中期計画」を明らかにしました。その内容は要旨次のとおりです。

【「子ども」かがやき戦略】

▷児童虐待の未然防止 ▷放課後子どもプラン推進 ▷小中一貫型防災教育の推進 ▷リフレッシュ改修工事の推進(原則として毎年度1校を目標) ▷みんなで「いじめSTOP」運動

【「元気」いきいき戦略】

▷笑顔で長生き!介護予防事業 ▷老人保健施設の整備(王子圏域) ▷都市型軽費老人ホームの整備(滝野川圏域)▷一人暮らし高齢者住宅建設(旧北園小跡地)▷精神障害者グループホームの整備 ▷観光基本計画策定、観光協会の設立 ▷(仮称)赤羽体育館の建設 ▷オリンピック・パラリンピックに向けたバリアフリーの整備 ▷幹線区道のバリアフリー化(滝野川桜通り)

【「花★みどり」やすらぎ戦略】

▷(仮称)赤羽台のもり公園の整備 ▷緑化推進モデル地区の指定(滝野川東地区)

【「安全・安心」快適戦略】

▷都市防災不燃化促進事業(補助86、73、81号線)▷防災職員住宅の整備 ▷大学生地域防災サポート事業 ▷集中豪雨対策(雨水流出抑制施設)

【その他】

▷十条駅周辺、赤羽、王子(ランドデザイン策定)板橋各周辺のまちづくり ▷自転車駐車場の整備(王子駅、西ヶ原駅、赤羽駅、板橋駅)▷区庁舎の改築 ▷シティプロモーションの推進

中期計画に待機児童解消策

— 今後3年間で1022名の定員増 —



保育園5歳児の描いた絵

保育園入園は、平成25年4月期に申し込みが急増し、選考指数が最高の10点の方でも不承諾となるケースがあり、合わせて125名の待機児童が発生した。

我々自民党は、これを重く受け止め、特に0、1、2歳児の定員拡大・変更を求めるとともに、保育園の新規開設についても鋭意議論を重ねてきた結果、今後3年間で1022名の定員増が図られることになった。

具体的には、中期計画による定員拡大数は下記のとおりである。

保育サービス整備計画【中期計画】

	26年度	27年度	28年度	計(26~28)
定員拡大数	416名	298名	308名	1,022名

第1回「比べて読もう新聞コンクール」表彰式

区内小31校、中10校、応募総数3954点

我々自民党は、かねてから新聞の読み比べを提案してきた。その結果、コンクールを開催できるまでにその活動が広がってきた。

北区では「新聞大好きプロジェクト」として、児童生徒に社会の出来事や仕組みに興味を持たせるとともに、思考力や表現力、読解力等を育成するため、NIEの推進をしている。

このほど第一回「比べて読もう新聞コンクール」が開催され、3954点の応募の中から40点と2校が表彰された。

最優秀賞の北区長賞には、滝野川第7小学校6年生の「東京五輪決定 復興なるか」オリンピックのためのお金や人手がとられて復興が遅れてしまうのではないか、「復興五輪」を願い、今後も物事を一方的に捉えずにいろいろな見方で判断していきたいと受賞の喜びを語っている。



*NIEとは、Newspaper in Educationの略。異なる立場から議論する(ディベート)学習にも用いられ、自主的で積極的なアプローチや情報の自己判断力の向上を促進させ、よく読み込まなければならぬため、読解力もつけられる。

(新聞制作に挑む生徒たち)

